

宇部工業高等専門学校		開講年度	平成30年度 (2018年度)		授業科目	校外実習Ⅱ	
科目基礎情報							
科目番号	0064		科目区分		専門 / 選択		
授業形態	実習		単位の種別と単位数		履修単位: 3		
開設学科	制御情報工学科		対象学年		4		
開設期	通年		週時間数		3		
教科書/教材							
担当教員	三宅 常時						
到達目標							
(1) 企業等の活動について説明することができる。 (2) 高専で学んだ知識・技術と企業等の活動との関連性について説明することができる。 (3) 自身のキャリア・デザインを明確化するために積極的な行動ができる。							
ルーブリック							
	理想的な到達レベルの目安		標準的な到達レベルの目安		最低限の到達レベルの目安 (可)		最低限の到達レベルの目安 (不可)
評価項目1	技術者の実務および責任のある仕事の進め方を理解した上で、企業等の活動について説明することができる。		技術者の実務を理解した上で、企業等の活動について説明することができる。		企業等の活動について説明することができる。		企業等の活動について説明することができない。
評価項目2	高専で学んだ知識・技術と企業等の活動との関連性について説明でき技術者として自身に必要な能力を高めるための計画を立案できる。		高専で学んだ知識・技術と企業等の活動との関連性および技術者として自身に必要な能力について説明することができる。		高専で学んだ知識・技術と企業等の活動との関連性について、説明することができる。		高専で学んだ知識・技術と企業等の活動との関連性について説明することができない。
評価項目3	積極的な行動により、自身のキャリア・デザインを明確化できる。		積極的な行動により、自身のキャリアの方向性を定めることができる。		自身のキャリア・デザインを明確化するために、積極的な行動ができる。		自身のキャリア・デザインを明確化するために積極的な行動ができない。
学科の到達目標項目との関係							
教育方法等							
概要	本科目では、学生が民間企業、政府・地方自治体、公益法人等（以下、「企業等」という）の現場において実習・研修を行い、実社会での就業を体験する。校外実習の目的は、企業等での就業体験を通して、学生の学習意欲を向上させるとともに、高い職業意識を涵養し、責任感や自立心などを醸成することにある。						
授業の進め方・方法	1) 本科目を履修しようとする学生は、受入企業等の調査を行い、実習先の決定等について、担任と相談する。 2) 本科目の意義と目的、実習・研修中の注意事項等に関する事前教育を受ける。 3) 長期休業中に、18日以上の実習・研修等を企業等で実際に行う。 4) 本科目を履修した後、別途定める①校外実習報告書、②校外実習日誌、③校外実習証明書を提出する。なお、これらの書式は本校ホームページ/在校生向けページよりダウンロードする。 5) 校外実習報告会（又は面接による試問）において、実習・研修等の成果を報告する。						
注意点	授業計画の日程は実際に日程と異なるため、校外実習を履修する学生は長期インターンシップ担当教員や担任からの連絡をよく聞いておくこと。						
授業計画							
		週	授業内容			週ごとの到達目標	
前期	1stQ	1週	企業等の調査			受入企業等の調査を行うことができる。	
		2週	学内ガイダンス			学内ガイダンス	
		3週	マッチングと依頼			実習先を決定することができる。	
		4週	事前教育			本科目の意義と目的、実習・研修中の注意事項等について説明することができる。	
		5週	実施			実習先において18日以上の実習を行うことができる。	
		6週	報告書提出			実習で得られた成果を報告書としてまとめることができる。	
		7週	発表			実習で得られた成果を報告会（または面接）において発表することができる。	
		8週					
	2ndQ	9週					
		10週					
		11週					
		12週					
		13週					
		14週					
		15週					
		16週					
後期	3rdQ	1週					
		2週					
		3週					
		4週					
		5週					
		6週					
		7週					

	4thQ	8週		
		9週		
		10週		
		11週		
		12週		
		13週		
		14週		
		15週		
		16週		

モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標

分類		分野	学習内容	学習内容の到達目標	到達レベル	授業週
分野横断的能力	態度・志向性(人間力)	態度・志向性	態度・志向性	自身の将来のありたい姿(キャリアデザイン)を明確化できる。	3	
				その時々で自らの現状を認識し、将来のありたい姿に向かっていくために現状に必要な学習や活動を考えることができる。	3	
				キャリアの実現に向かって卒業後も継続的に学習する必要性を認識している。	3	
				これからのキャリアの中で、様々な困難があることを認識し、困難に直面したときの対処のありかた(一人で悩まない、優先すべきことを多面的に判断できるなど)を認識している。	3	
				高専で学んだ専門分野・一般科目の知識が、企業や大学等でのように活用・応用されるかを説明できる。	3	
				企業等における技術者・研究者等の実務を認識している。	3	
				企業人としての責任ある仕事を進めるための基本的な行動を上げることができる。	3	
				企業における福利厚生面や社員の価値観など多様な要素から自己の進路としての企業を判断することの重要性を認識している。	3	
				企業には社会的責任があることを認識している。	3	
				企業が国内外で他社(他者)とどのような関係性の中で活動しているか説明できる。	3	
				調査、インターンシップ、共同教育等を通して地域社会・産業界の抱える課題を説明できる。	3	
				企業活動には品質、コスト、効率、納期などの視点が重要であることを認識している。	3	
				社会人も継続的に成長していくことが求められていることを認識している。	3	
				技術者として、幅広い人間性と問題解決力、社会貢献などが必要とされることを認識している。	3	
				技術者が知恵や感性、チャレンジ精神などを駆使して実践な活動を行った事例を挙げるができる。	3	
				高専で学んだ専門分野・一般科目の知識が、企業等でのように活用・応用されているかを認識できる。	3	
				企業人として活躍するために自身に必要な能力を考えることができる。	3	
				コミュニケーション能力や主体性等の「社会人として備えるべき能力」の必要性を認識している。	3	

評価割合

	試験	発表	相互評価	校外実習報告書	報告会または面接	その他	合計
総合評価割合	0	0	0	60	40	0	100
知識の基本的な理解	0	0	0	0	0	0	0
思考・推論・創造への適応力	0	0	0	0	0	0	0
汎用的技能	0	0	0	40	25	0	65
態度・志向性(人間力)	0	0	0	20	15	0	35
総合的な学習経験と創造的思考力	0	0	0	0	0	0	0